

連合会 平成30年度通常総会を開催

一般社団法人群馬労働基準協会連合会（会長：町田錦一郎）は、5月15日（火）午後4時より、前橋商工会議所において、平成30年度通常総会を盛大に開催した。出席者は、正会員の地区労働基準協会のすべてを含み、計59名。

冒頭、町田会長より、「景気・雇用情勢は好調に推移する一方、人手不足が深刻化している。県内では今年に入って労災死亡事故が多発しているが、労働災害防止対策の強化のほか、メンタルヘルス対策の推進や働き方改革に基づく労働時間管理の適正化等、経営者に求められる課題は依然多い。こうした現況に対応すべく、本年度においても、関係行政機関や団体と連携を深めつつ、働く者が安心・安全に働けるよう、各種事業を積極的に推進し、地域社会に貢献して参りたい。」と挨拶し、改めて理解と協力を呼び掛けた。

議事として、①平成29年度事業報告及び収支決算、②平成29年度計算書類（財産目録を含む）、③平成30年度事業計画（案）及び収支予算（案）、④平成30年度群馬産業安全衛生大会の開催、⑤平成30年度全国産業安全衛生大会への参加、につき審議し、それぞれ満場一致で承認・可決した。

来賓を代表し、群馬労働局長（半田和彦氏）と群馬県知事（代理：群馬県産業経済部労働政策課長の坂庭秀氏）より祝辞を頂戴した。

総会後に特別講演を開催。前橋赤十字病院事務部長の関根 晃氏を講師に招き、『前橋赤十字病院の機能と役割』と題して、6月オープンとなる新病院についての詳しい紹介を内容とする講話を拝聴した。



会場の模様



町田会長挨拶



半田局長祝辞



坂庭課長祝辞